

開設年度		開講部局	
2014		共通教育	
科目名			
進取の精神海外研修inベトナム			
英語科目名			
Oversaea Study Tour of the Sprit of Enterprise in Vietnam			
前後期	開講区分	科目形態	単位数
前期	集中		2
(25年度以降入学生)中分類		(25年度以降入学生)小分類	
a. 実践・判断・精神力		4. 国際交流を学ぶ	
(24年度以前入学生)大区分		(24年度以前入学生)中区分	
教養科目		人間教育科目	
受講学部学科			
全学部			
担当教員		担当教員所属	
吉田浩己		稲盛アカデミー	
連絡先(TEL)		連絡先(MAIL)	
099-285-3760		inamori@gm.kagoshima-u.ac.jp	
オフィスアワー(授業時間外の対応)			
共同担当教員			
越塩俊介・加藤泰久			
メインキーワード		サブキーワード	
自己の確立		コミュニケーション能力の修得	
授業概要(目的・内容・方法)			
<p>本授業の目的は、鹿児島大学教育目標に則し、向上心をもって自ら困難に立ち向かう態度(進取の精神)を養い、グローバルな視野をもち、国際社会の発展に貢献できる実践的な能力を育むことである。授業では、まず、本学が先人より引き継ぐ「進取の精神」を理解するために、本学の歴史や日本の近代化を推進する過程で多くの困難に果敢に挑戦した鹿児島の若者について学ぶ。日本と同様に中国より仏教や文化が伝播したベトナムでは、ベトナム国民は長い間、中国、フランスによる長期間の侵略やベトナム戦争に堪えた後、現在、懸命に国土の復興と産業等の振興に懸命に取り組んでいる。授業ではベトナムを訪問し、ベトナムの様々な取り組み等に直接に接するとともに、ベトナムの同世代の若者等と交流する。海外研修への参加を決断する行為や、ベトナム社会の現場でのベトナム国民との積極的な交流、特に、稲盛アカデミーハノイ事務所日本語・日本事情を学び、本学への留学に果敢に挑戦する若者やベトナム支援活動等を行っている日本人若者に接するなかで、進取の精神を涵養するとともに、国際交流の実践力を育む。</p>			
学習目標			
ベトナムの文化、歴史、産業の実態を理解し、同世代の若者との交流を通じ、進取の精神を涵養するとともに、グローバルな視野を持つ実践力を育む。			
授業計画(15回に分け、回数、授業内容、自学自習等)			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 集中講義(進取の精神、本学の歴史と薩摩の若者)</li> <li>2. 集中講義(ベトナムの歴史、文化、産業、日本との関係)</li> <li>3. 集中講義(危機管理、自己管理)</li> <li>4. ベトナム社会科学院・ベトナム農業・農村開発省訪問</li> <li>5. ハイフォン工業団地見学</li> <li>6. カトバ島水上集落、マングローブ林訪問</li> <li>7. ハーロン湾(世界自然遺産、歴史学習)訪問</li> <li>8. ハイズオン市およびナムディン、タイピン市(農村開発、ベトナム戦争枯葉剤被害者支援施設)訪問、ナムディン市の若者との交流</li> <li>9. ホアンポー地区(新農村地区:農村開発の実態)訪問</li> <li>10. ホアンポー地区(新農村地区:農村開発の実態)訪問</li> <li>11. ベトナム文化体験</li> <li>12. ハノイ農業大学における学生交流</li> <li>13. 集中講義(報告書作成)</li> </ol>			

14. 集中講義（報告書作成）

15. 報告会開催

授業外学習(予習・復習)

ベトナムの文化、歴史、産業について事前に学習をしておくこと。

受講要件

成績の評価基準

受講者数は20名。原則として、本海外研修に参加した学生は、研修終了直後の学期に開設される「グローバル・イニシアティブ概論」を受講するものとする。

事前授業、研修事業、事後授業の参加姿勢及びレポートで評価

教科書

参考書

その他

一人の旅費と宿泊費等は総額約18万円。

鹿児島大学海外研修事業に申請予定（支援額7万円）

その他にも支援をし、自己負担は約5、6万円となる見込み